

## パッケージエアコン

### 安全上のご注意 取扱説明書

## 空冷ヒートポンプ式一体型

日本国内専用品

Use only in Japan

### <上吹仕様>

RDA-SAP2241HT RDA-SAP2801HT

RDA-SPE4506HT RDA-SPE5606HT

RDA-SPE6306HT RDA-SPE8006HT

### <横吹仕様>

RDA-SAP2241EHT RDA-SAP2801EHT

RDA-SPE4506EHT RDA-SPE5606EHT

RDA-SPE6306EHT RDA-SPE8006EHT

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」・「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。
- 製品を廃棄・整備する場合は、フロン排出抑制法に基づくフロンの回収、運搬、破壊費用が必要です。
- 地球温暖化係数は、製品本体に表示しております。



### <フロン類漏えい点検実施のお願い> (フロン排出抑制法に基づく)

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、フロン類を適切に管理していただくために、定期的なフロン類漏えい点検（保守契約などによるフロン類漏えいの確認などの総合的なサービスも含む）をお願いします。（有償）  
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者による「漏えい点検記録簿」によって、機器を設置したときから廃棄までのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いします。

## 目 次

安全上のご注意.....	1
取扱説明書	
製品仕様.....	4
始動および停止 .....	5
リモコン（別売部品）操作方法 .....	6
運転のしかた .....	8
タイマー運転のしかた.....	9
故障診断.....	10
保守とサービス .....	13
保証とアフターサービス.....	14
保守点検契約について .....	15
定期点検/簡易点検のお願い .....	15

# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 記号の意味



### 警告

取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。



### 注意

取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。



危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。















行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



### 《 I. 使用上の注意事項 》

△警告	
長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。 体調悪化・健康障害の原因となります。	!
パネルを開いたまま運転しないでください。 やけどやケガの恐れがあります。	⊘
空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒を入れないでください。内部でファンが 高速回転しておりますのでケガの原因になります。	⊘
異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡 ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。	!
電源スイッチやブレーカー等の入り切りによりユニットの運転・停止をしないで ください。感電や火災の原因になります。	⊘
故障や破損をしたまま運転しないでください。重大な事故につながる恐れがあり ます。修理に不備があると感電・火災等の原因になります。	⊘








## ⚠ 警告

ユニットを改造しないでください。 感電・火災等の原因になります。	
電気部品箱のフタを開けないでください。 感電の原因になります。	
濡れた手でスイッチを操作しないでください。 感電の原因となることがあります。	
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。 換気が不十分な場合は、酸欠の原因になることがあります。	
エアコンの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。 燃焼器具の不完全燃焼による事故の原因となることがあります。	
長期使用で据付台等が痛んでないか注意してください。痛んだ状態で放置すると ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。	
ユニットを水洗いしないでください。 感電の原因になることがあります。	
ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。ユニット内部に浸 水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。	
モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。 故障や感電の原因になることがあります。	
ユニットのキャビネットや電装箱の蓋を外したままの運転は行なわないでくだ い。充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因となることがあります。	
電磁接触器を指で押して圧縮機等を運転しないでください。むりやり運転させ ると、感電・火災等の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。不当に変更すると、火災等の原因に なることがあります。	
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブ等の火気を消し、床面を掃くように換気し、 お買い上げの販売店・専門業者または、弊社支社店に連絡してください。不燃性・ 非害性・無臭性の安全冷媒を使用していますが、火気に触れると有害ガスが発生 する原因になります。	
フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。	

## ⚠ 注意









食品・動植物・精密機械・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。 品質低下等の原因となることがあります。	
動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼ す原因となることがあります。	

## ⚠ 注意

掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。 内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。	
空気熱交換器のアルミフィンには触れないでください。触れると、ケガの原因になることがあります。	
ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。	
可燃性スプレーをユニットの近くに置いたり、ユニットに直接吹きかけたりしないでください。発火の原因となる場合があります。	
正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。 針金や銅線を使用すると火災の原因となります。	
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、全て開閉状態を確認してください。特に、保安上のバルブ（安全弁等）は運転中必ず開いてください。 開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になることがあります。	
圧縮機や冷媒配管等の高温部には触れないでください。 高温部に触れると、やけどの恐れがあります。	

## 《Ⅱ. 移設・修理時の注意事項》

## ⚠ 警告

修理は、お買上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、感電、火災等の原因になります。	
改造は絶対に行なわないでください。 感電、火災等の原因になります。	
ユニットを移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。据え付けに不備があると、感電、火災の原因になります。	
冷媒や冷凍機油の種類を間違えないでください。 火災・爆発の原因となる場合があります。	
保護装置を短絡して、強制的な運転を行なわないでください。 火災や爆発の原因となる場合があります。	
保護装置の設定は変更しないでください。 火災等の原因となる場合があります。	
冷媒の溶栓をハンダ付けしないでください。 規定外の溶栓を使用されますと、爆発の原因となる場合があります。	
屋内で修理される場合は、換気に注意してください。換気が不十分な場合、万一冷媒が漏洩すると酸欠事故につながる原因となる場合があります。	

# 製品仕様

表一 製品仕様表

馬力			8HP		10HP		16HP		20HP		25HP		30HP	
機種	RDA-	項目	SAP 2241 HT	SAP 2241 EHT	SAP 2801 HT	SAP 2801 EHT	SPE 4506 HT	SPE 4506 EHT	SPE 5606 HT	SPE 5606 EHT	SPE 6306 HT	SPE 6306 EHT	SPE 8006 HT	SPE 8006 EHT
			上吹出	横吹出	上吹出	横吹出	上吹出	横吹出	上吹出	横吹出	上吹出	横吹出	上吹出	横吹出
室外機	圧縮機形式		全密閉ロータリ式											
	圧縮機電動機	(kW)	2.3+2.3		3.1+3.1		(1.8+1.8)×2		(2.7+2.7)×2		(1.8+1.8)×3		(2.7+2.7)×3	
	送風機		プロペラファン(直結駆動)											
	送風機電動機	(kW)	1.0				0.6×2				0.6×3			
	風量	(m³/min)	165		175		200×2				200×3			
室内機	送風機		シロッコファン(ベルト駆動)											
	送風機電動機	(kW)	0.75		1.5		2.2		3.7		3.7		5.5	
	標準回転数	(rpm)	684/826		856/1033		536/642	562/675	603/723	638/766	562/675	603/723	679/816	
	標準風量	(m³/min)	63		80		140		170		210		255	
	風量範囲	(m³/min)	52~84		72~104		100~170		145~200		170~250		200~290	
騒音値	音響パワーレベル*	冷房 (dB(A))	79/79		79/80		83/84		84/84		85/86		86/86	
		暖房 (dB(A))	80/80		80/81		83/84		84/85		86/87		86/87	
	音圧レベル	冷房 (dB(A))	59/59		59/60		63/64		64/64		65/66		66/66	
		暖房 (dB(A))	60/60		60/61		63/64		64/65		66/67		66/67	
種類	機能		冷暖房兼用形											
	ユニット構成		一体形											
	凝縮器の冷却方式		空冷式											
	送風方式		ダクト吹出形											
性能	定格冷房能力	(kW)	20		25		40		50		56		71	
	暖房標準能力	(kW)	22.4		28		45		56		63		80	
通年エネルギー消費効率		APF2015	4.3		3.9		3.4		3.1		3.3		3.0	
		APF2006	4.9		4.7		-		-		-		-	
区分名			ap		ap		-		-		-		-	
圧力スイッチ			ON:2.9MPa OFF:3.73MPa				ON:3.2MPa OFF:4.15MPa							
製品質量			415		425		880		895		1200		1215	
冷媒・封入量			R410A 11.5				R410A 5.5×2				R410A 5.5×3			
地球温暖化係数			2090											
冷媒制御			電子制御弁											
ドレン口 (室内機)			フレキシブルホース φ38 (外径)											
電源配線接続孔			φ50				φ80							
操作回路電線接続孔			φ22				φ32.5							

注、 / は50Hz/60Hzを示します。  
\*印はJRA4002:2013Rでの表示です。

表一2 ユニット使用範囲

冷	房	室内コイル入口湿球温度	15℃～24℃ W.B.
		外気温度	-5℃～43℃ D.B.
暖	房	室内コイル入口乾球温度	15℃～28℃ D.B.
		外気温度	-15℃～15℃ W.B. , 24D.B.
電源電圧		定格 ±10%以内	
相間バラン		電圧 ±2%以内	電流 ±10%以内

# 始動および停止

ユニットの電源を運転前に最低 12 時間以上入れつづけて、ケースヒータによる冷凍機油の加熱を行ってください。なお、運転期間中は電源を入れたままにし、電源スイッチを切らないでください。

## (1) 短期間の運転停止

- ① 日常的な運転停止は、リモコンの操作で行ってください。
- ② 決してユニットの元電源は切らないでください。ケースヒータの通電を続けるためです。

## (2) 長期間の運転停止

長期間運転を停止する場合、次の手順に従ってください。

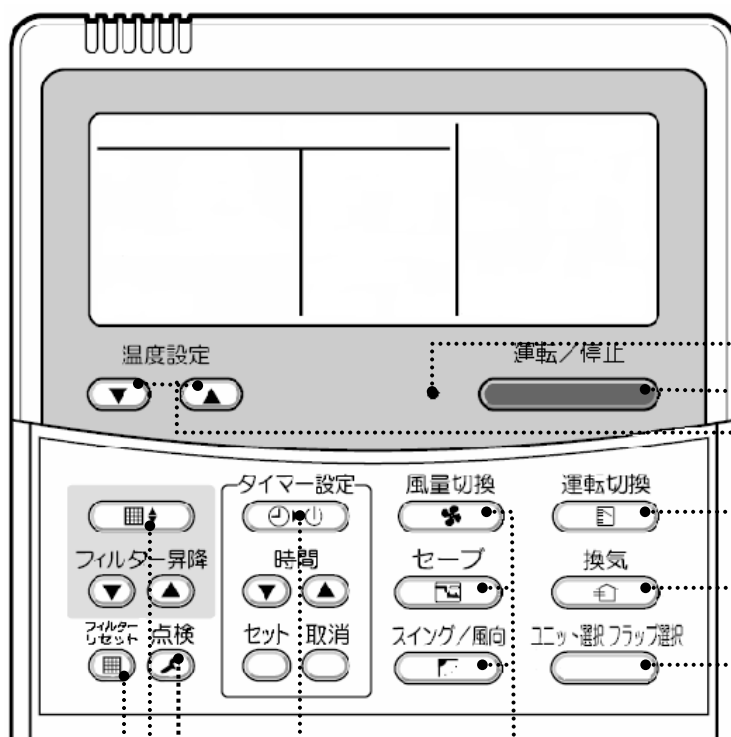
- ① リモコンでユニットを停止させてください。
- ② 次に、ユニットの電源スイッチを切ってください。

## (3) ユニット運転上の注意

ユニット運転にあたって、少なくとも 12 時間前にユニットの電源を入れて、ケースヒータによる冷凍機油の加熱を行ってください。冷凍機油の加熱を怠ると、ユニット始動時にオイルのフォーミング現象を起こし、圧縮機の損傷につながります。したがって、始動運転時には最低 12 時間前にユニットの電源を入れておくことと、日常的な運転停止時には、ユニットの電源は切らずにおき、“運転／停止” ボタンにて行なう必要があります。

# リモコン(別売部品)操作方法

**操作部** ●一度運転内容を設定すると、その後は運転/停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



## 運転ランプ

運転中に点灯します。  
異常時、保護装置動作時は点滅します。

## 運転/停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

## 温度設定ボタン

設定温度を調整します。  
▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。

## 運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

## 換気ボタン

本ユニットでは使用しません。

## ユニット選択ボタン

ユニットを選択するときに使用します。

## 風量切換ボタン

本ユニットでは使用しません。

## セーブボタン

セーブ運転を行う時に使用します。

## スイング/風向ボタン

本ユニットでは使用しません。

## フィルターリセットボタン

「フィルター」表示をリセット（消灯）します。エアフィルターの掃除が終わりましたら、このボタンを押してください。

## フィルター昇降ボタン

本ユニットでは使用しません。

## 点検ボタン

サービス時に使用します。  
※通常は使用しないでください。

## タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。

## リモコンセンサー

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコンセンサーによりリモコン周辺の温度を感知させることもできます。しかし、本製品では室外機複数台が同時に ON/OFF してしまい、室温の変動が激しくなるため推奨しません。



**表示部** 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

### 運転切換表示

運転モードを表示します。

### 設定中表示

タイマー設定中等に表示します。

### タイマー時間表示

タイマー時間を表示します。

(異常時には点検コードを表示します)

### 点検表示

保護装置動作時および異常時に表示します。

### 集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき **集中管理中** が点滅し、変更を受けつけません。

(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコン取扱説明書をご確認ください)

### ユニット No 表示

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニット No を表示します。

### 設定温度表示

選択した設定温度を表示します。

### フラップ位置表示

本ユニットでは使用しません。

### 運転切換管理中表示

エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

### リモコンセンサー表示

リモコンセンサー使用時に表示します。

### 運転準備表示

機種によって表示する場合があります。

### 機能なし表示

ボタンを押しても機能がないときに表示します。

### 暖房準備表示

暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

### 換気運転表示

本ユニットでは使用しません。

### 風量切換表示

本ユニットでは使用しません。

### フィルター表示

この表示が点灯したら、エアフィルターの掃除をしてください。

### 昇降グリル表示

本ユニットでは使用しません。

### タイマー設定表示

タイマー設定ボタンを押すと、

☐切タイマー → ☐繰り返し切タイマー → ☐入タイマー → 表示なし

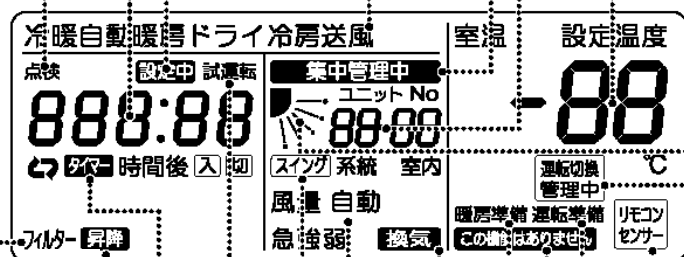
の順に切り換わります。

### 試運転表示

試運転中に表示します。

### スイング表示

本ユニットでは使用しません。



# 運転のしかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。  
次回から運転／停止ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

## 準備

### 漏電ブレーカーを入れる

- ・電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

## お願い

- ・使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- ・長期間停止後／運転開始をするときは、**12時間以上前に漏電ブレーカーを入れてください。**

1 **運転／停止** を押して運転する

●運転ランプが点灯します。

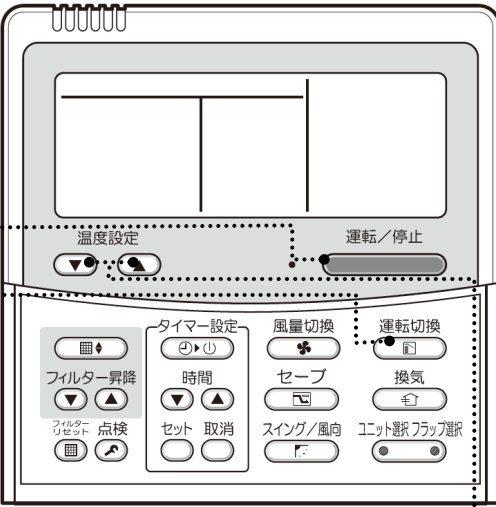
2 **運転切換** を押して「運転の種類」を選ぶ

●ボタンを押すたびに運転表示が変わります。

→ 暖房 → 冷房 → 送風

3 **運転／停止** を押して運転を止める

●運転ランプが消えます。



## 温度を変えるとき

**温度設定** を押して選ぶ

●**▲**を押すと温度があがり、**▼**を押すと温度が下がります。（送風時は温度の設定ができません。）

- 温度センサーが感じる温度は、室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
- 暖房運転の場合は、停止後 30 秒ほど送風運転を続ける場合があります。

# タイマー運転のしかた

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー

繰り返し切タイマー

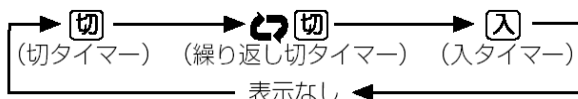
入タイマー

設定時間になると運転を停止します。毎回、設定時間後運転を停止します。設定時間になると運転を開始します。

## タイマー運転のしかた

### 1 タイマー設定を押す

- ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。



- 設定中と時間表示が点滅します。

### 2 時間を押して「設定時間」を選ぶ

- を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。

リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(\*1)までは設定時間の数字です。

24時間以上(\*2)は日数と時間で表示します。

- を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します。

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(\*1)

設定中  
23.5

- 34Hの場合(\*2)

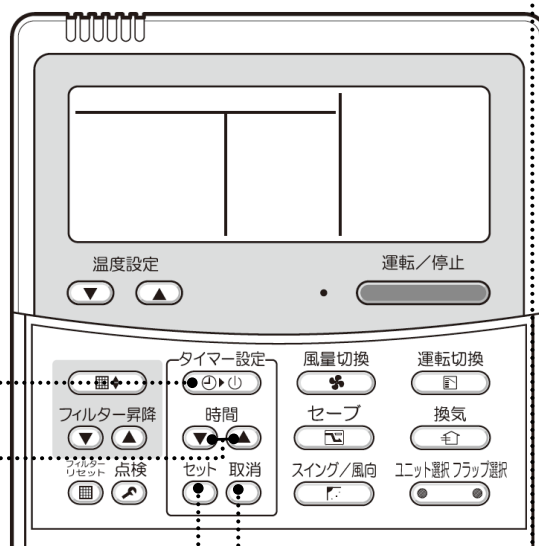
設定中  
1d 10h  
日数 時間

1dは1日(24時間)を表わします。

10hは10時間を表わします。  
(合計 34 時間)

### 3 セットを押す

- 設定中が消えて時間表示が点灯し、  
☑または☒が点滅します。  
(入タイマーのときは時間表示、タイマー  
時間後☑以外の表示が消灯します。)



### お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再び運転/停止を押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。

## タイマー運転取り消しのしかた

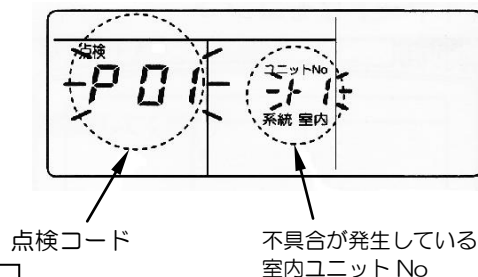
### 取消を押す

- タイマー表示が消えます。

# 故障診断

## 確認と点検

- ・ エアコンに不具合が発生した場合、右図のようにリモコン表示部に点検コードと室内ユニット No が表示されます。
- ・ 点検コードは、運転中にのみ表示されます。
- ・ 表示が消えてしまった場合は、下記の「故障履歴」に従って操作し確認してください。



## 故障履歴の確認

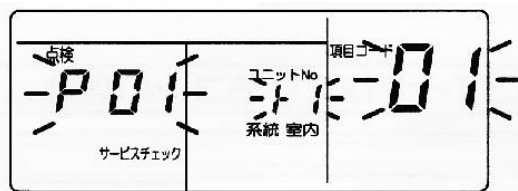
エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。（故障履歴は4つまでメモリされます。）運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

### 故障履歴確認手順

- ① **セット** + **点検** ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が下図のように表示されます。

表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。

- ・ 項目コード[01]が表示。
- ・ 一番新しい点検コードを[点検]に表示。
- ・ 不具合が発生した室内ユニット No が表示。



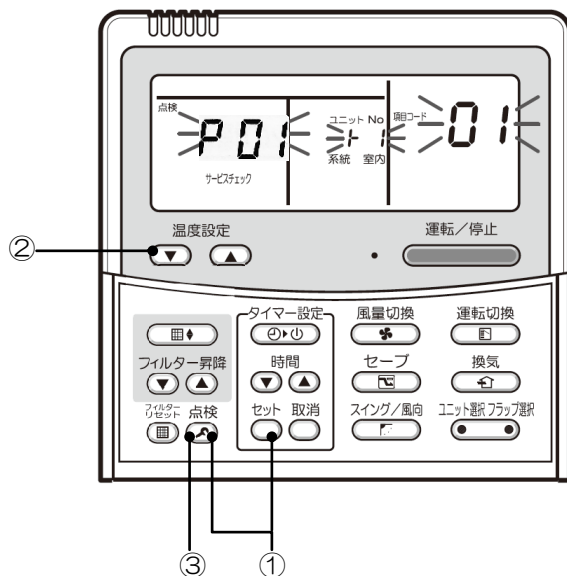
- ② 設定温度の **▲** **▼** ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。

項目コードは、項目コード[01](最新)⇒項目コード[04](一番古い)を示します。

- ・ [項目コード]に合わせて、順次点検コードを[点検]に表示。
- ・ [項目コード]に合わせて、不具合が発生した室内ユニット No が表示。

注) **取消** ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。

- ③ 確認できたら **点検** ボタンを押して通常表示に戻ります。



表—3 点検コードと点検箇所

表示	代表故障箇所	検出	点検箇所と故障内容	エアコンの状態
E01	リモコン親なし	リモコン	リモコンの誤設定…親リモコンが設定されていない場合(含む2リモコン)	運転継続
E02	リモコン通信異常	リモコン	渡り線、室内側 PC 板、リモコン…室内側ユニットから信号が受信できない場合	全停止
E03	室内⇄リモコン間 定期通信エラー	室内	リモコン、通信アダプタ、室内側 PC 板…リモコン及び通信アダプタから通信が無い場合	自動復帰
E04	室内外シリアル異常 IPDU-CDB 間通信異常	室内	渡り線、室内側 PC 板、室外 PC 板…室内外間シリアル通信に異常のある場合	自動復帰
E08	室内側アドレス重複☆	室内	室内側アドレス誤設定…自分と同じアドレスを検出した場合	自動復帰
E09	リモコン親重複	リモコン	リモコンアドレス誤設定…2リモコン制御で2台とも親に設定した場合 ( * 室内親は警報停止、子は運転継続)	*
E10	CPU 間通信異常	室内	室内側 PC 板…メイン-モーターマイコン間の MCU 間通信が異常の場合	自動復帰
E18	室内側ユニット親子間 定期通信エラー	室内	室内 PC 板…室内親子間の定期通信ができない場合 以下、電源投入時にエラー発生がする場合 グループ設定不良: 同一のグループにしたい全ての室外機の電源を OFF にした後、全ての室外機の電源を約 1 分以内に入れ直す事で再設定されます。 ファンモーターサーマルリレー作動: サーマルを手動リセットし電源リセット 補助リレ動作不良: 室内基板 CN076 に接続されているリレの動作を確認する。	全停止
F01	室内側ユニット 熱交センサ(TCJ)異常	室内	熱交センサ(TCJ)、室内側 PC 板…熱交センサ(TCJ)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F02	室内側ユニット 熱交センサ(TC)異常	室内	熱交センサ(TC)、室内側 PC 板…熱交センサ(TC)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F04	室外機 吐出温度センサ(TD)異常	室外	室外温度センサ(TD)、室外 PC 板…吐出温度センサのオープン・ショートを検出した場合	全停止
F06	室外機 温度センサ(TE,TS)異常	室外	室外温度センサ(TE,TS)、室外 PC 板…熱交温度センサのオープン・ショートを検出した場合	全停止
F08	室外機 外気温センサ異常	室外	室外温度センサ(TO)、室外 PC 板…室外気温センサのオープン・ショートを検出した場合	運転継続
F10	室内側ユニット 吸込温度センサ(TA)異常	室内	吸込温度センサ(TA)、室内側 PC 板…吸込温度センサ(TA)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F29	室内側ユニット 他の室内基板異常	室内	室内側 PC 板…E2PROM 異常の場合	自動復帰
H01	室外機 コンプレッダウン	室外	電流検出回路、電源電圧…電流リリース制御にて min-Hz 到達時、直流励磁以降の短絡電流(I <sub>dc</sub> )検出など	全停止
H02	室外機 コンブロック	室外	コンブ回路…コンプレッサのロックを検出した場合	全停止
H03	室外機 電流検出回路異常	室外	電流検出回路、室外 PC 板…AC-CT にて異常電流を検出した時、欠相を検出した時	全停止
H06	室外機 低圧系異常	室外	電流、高圧スイッチ回路、室外 PC 板…Ps 圧力センサ異常、低圧保護動作	全停止
L03	室内側ユニット親重複☆	室内	室内側アドレス誤設定…グループ内に親機が複数存在する場合	全停止
L07	個別室内ユニットに グループ線あり☆	室内	室内側アドレス誤設定…個別室内ユニットにグループ接続室内機が1台でもいる場合	全停止
L08	室内グループアドレス 未設定☆	室内	室内側アドレス誤設定…室内アドレスグループ未設定の時	全停止
L09	室内側能力未設定	室内	室内側ユニットの能力が未設定	全停止
L20	LAN 系通信異常	通信アダ プタ集中	アドレス設定、集中管理リモコン、通信アダプタ…集中管理系通信のアドレス重複	自動復帰
L29	室外機 他の室外機異常	室外	その他室外機異常 1)IPDU-CDB 間の MCU 間通信が異常の場合 2)IGBT のヒートシンク部温度センサにて異常温度を検出した場合	全停止
L30	室内側ユニットへの外部異常 入力あり(インターロック)	室内	外部機器チェック、室外 PC 板…CN80 外部異常入力で異常停止 室内プロモータサマーリレ作動(RDA-SAP 型のみ)	全停止
L31	相順異常 その他	室外	電源相順、室外 PC 板…三相電源の相順が異常の時	全停止

表一３ 点検コードと点検箇所（つづき）

表示	代表故障箇所	検出	点検箇所と故障内容	エアコンの状態
P01	室内側ユニット 室内側ファン異常	室内	室内側ファンモータ、室内側 PC 板…室内側 AC ファンの異常（ファンモータサーマルリレー動作）を検出した場合	全停止
P03	室外機 吐出温度異常	室外	吐出温度リリース制御にて異常を検出した場合	全停止
P04	室外機 高圧系異常	室外	高圧スイッチ、IOL が動作した場合・TE による高圧リリース制御にて異常を検出した時	全停止
P19	四方弁異常	室内	四方弁チェック、室内側温度センサ(TC,TCJ)チェック…暖房時室内側熱交センサの温度低下により異常を検出した場合	全停止
P22	室外機 室外ファン異常	室外	室外ファンモータ、室外 PC 板…室外ファン駆動回路にて異常(過電流・ロック等)を検出した時	全停止
P26	室外機 インバータ Idc 動作	室外	IGBT、室外 PC 板、インバータ配線、コンプレッサ…コンプレッサ駆動回路素子(G-Tr・IGBT)の短絡保護動作が働いた場合	全停止
P29	室外機 位置検出異常	室外	室外 PC 板、高圧スイッチ…コンプレッサモータの位置検出異常を検出した時	全停止
P31	他の室内ユニット異常	室内	グループ内部の他の室内が警報中の場合 E03/L07/L03/L08 警報	自動復帰
-	室内グループ内異常	通信アダプタ	リモコングループ内での子機の異常（手元リモコンは号機とともに詳細表示、集中管理側のみ表示）	-
-	LAN 系通信異常	通信アダプタ集中	集中管理系信号の通信異常 *手元リモコンには表示しません	運転継続
-	通信アダプタが複数台	通信アダプタ	リモコン通信線に通信アダプタが複数台ある場合	運転継続

☆：この時は自動的に自動アドレスモードへ移行します。

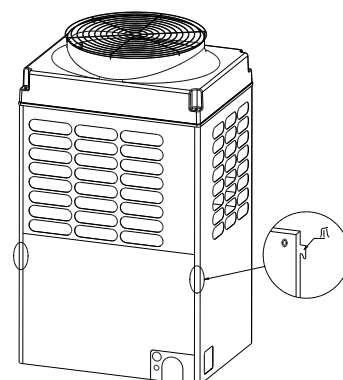
### その他の故障の原因と対策

故障の内容	原因	対策
送風機が回転しない	電源系統	点検修正する
	V-ベルト切れ	ベルトを交換する
	過負荷保護装置が働いている	過負荷の原因を取り除く
風量が少ない	V-ベルトのゆるみ	張りを調整する
	エアフィルタの目詰まり	洗浄する
においがする	V-ベルトのゆるみによる焼け	張りを調整する
送風機回りのガラガラ音	ベアリング	交換する
送風機回りのキューキュー音	V-ベルトのゆるみ	張りを調整する
冷房（または暖房）能力の低下	風量が少ない	ダクト系および送風機を点検する

# 保守とサービス

## (1) コイルの目詰まり

ユニットの空気熱交(コイル)に目詰まりがあるかどうか、定期的に点検してください。目詰まりがあったら、ブラシ、真空掃除機、圧縮空気などによりフィンの間のゴミを取り除いてください。またファンガードを取り外して、低水圧の水をユニット内側よりかけてください。この時、ファンモータに水がかからないように注意してください。



## (2) 室外機側前面パネルのはずし方

- ① 前面パネルを固定しているねじをはずします。(M5：7本)
- ② 前面パネルには右図のように左右1ヶ所ずつ引掛け用の爪がついています。前面パネルを上方へ持ち上げるように取りはずします。

## (3) 室内側ベアリングの交換

12,000時間程度毎を目安に点検し、必要であれば給油してください。但し、使用条件によって給油する頻度は変わります。また、回転音に異常がある場合は、交換してください。給油するグリスは、弊社指定のもの(アルバニアS-2、S-3)を使用し、機種毎に以下の表の補給量を充填してください。指定以外のグリスの給油が原因となる故障等に関しては、保証いたしかねます。

グリス標準補給量(g)

機種(RDA-)	プーリ側	反プーリ側
SAP2241(E)HT, SAP2801(E)HT	4.4	4.4
SPE4506(E)HT, SPE5606(E)HT	6.5	6.5
SPE6306(E)HT, SPE8006(E)HT	6.5	6.5

## (4) V-ベルト

ベルトの張りが弱いとスリップしたり磨耗したりします。必要に応じて点検し、張りの調整を行ってください。ベルトの磨耗がひどいときはベルトを交換してください。交換の際は、レッドベルト(高抗張力ベルト)を使用してください。ベルトが新しい場合は初期伸びが発生しますので、約1ヶ月後に再調整が必要です。

## (5) エアフィルター(現地手配品)

レターンダクト系には、エアフィルターを必ず取付けてください。また、フィルターの目詰まりは空気の通過抵抗を増し、風量を減少させますので、定期的に清掃・点検を行ってください。

なお、取付けたフィルターの種類に応じて「フィルターサイン点灯時間」の設定を変更してください。

変更方法については、据付説明書の“応用制御設定の切換”をご参照願います。

## (6) ドレンパン

ドレンパンにゴミ等がたまり、ドレン配管をつまらせると、レターンダクト側に水があふれることがあります。フィルターの点検と合わせて、ドレンパン上のゴミ等も取り除いてください。

## (7) ケースヒータ

圧縮機停止中は通電されていて、圧縮機底部が温まっていることを確認してください。温くない場合は、ケースヒータを交換してください。

# 保証とアフターサービス

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。  
なお、所在地は裏面をご参照ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

パッケージエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 9 年間です。  
この期間は、家庭電気製品の通産省の指示に準じています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

## 保証期間

パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。

## 修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってからお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。  
修理には、専門の技術が必要です。

## 保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社にて保証書の規定に従って修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン		
形名			
製造番号			
お買上げ日	年	月	日
故障の状況			
ご住所			
電話番号			
訪問希望日			
お買上げ店名			
電話番号			

お買上げ店名を記入されておくと便利です。

## 修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品の代金です。
出張料	商品のある場所に技術者を派遣する料金です。
材料費	修理に使用した材料の代金です。
運搬費	部品の運搬するための料金です。
その他	上記以外で修理にかかる料金です。(破棄費・撤去費等)



# 保守点検契約について

製品の機能を、いつも完全に機能させるためには正しくご使用いただくと同時に、定期的な保守点検が必要です。据付工事業者の方または、お買い上げの販売店・弊社支社店とご相談の上、是非保守点検契約する事をお奨め致します。

- パッケージエアコンをいつまでも最良の状態でお使いいただくために  
お手入れの良し悪しで、パッケージエアコンの寿命や働きに大きな差が生じます。  
弊社では、特に弊社パッケージエアコンご愛用者のために、お手数のかからない便利なメンテナンス（保守手入れ）を実費でお引き受けしております。
- 専門の技術員が完全にお手入れいたします。  
シーズン中の定期的な巡回サービス、シーズン前後のお手入れを、専門の技術員によって実費でお引き受けしております。
- お申し込み、お問い合わせは……  
お買い上げの販売店またはお近くの弊社支社店にご連絡ください。詳しくご説明いたします。

## 保守サービスのご用命は

据付年月日	年 月 日
お買い上げ店名	
据付工事店名	

# 定期点検/簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン類排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、また専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・機器の異常振動・異常運転
	・機器および機器周辺の油のにじみ
	・機器の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など
室内機点検	・熱交換器の霜付の有無

点検は、安全で安易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたらこれらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/>

お問い合わせは下記へどうぞ。

**TOSHIBA**  
*Carrier*

## 東芝キャリア株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34  
<http://www.toshiba-carrier.co.jp>

### ■東芝キャリア株式会社

本社：〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34

- 神奈川営業所 TEL 045-662-1048
- 東関東営業所 TEL 043-247-1261

### ● 東北支社

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-2-1 TEL 022-237-4021

- 福島営業所 TEL 024-933-1622
- 山形営業所 TEL 023-625-5257
- 岩手営業所 TEL 019-636-4121
- 青森営業所 TEL 017-777-1861
- 秋田営業所 TEL 018-864-7315

### ● 関信越支社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-318 みづほビル TEL 048-658-1048

- 群馬営業所 TEL 027-363-3181
- 栃木営業所 TEL 028-636-5161
- 新潟営業所 TEL 025-241-8080
- 長野営業所 TEL 026-221-3896

### ● 中部支社

〒451-8502 愛知県名古屋市中区名西 2-33-10 東芝名古屋ビル TEL 052-529-1930

- 岐阜営業所 TEL 058-277-0620
- 三重営業所 TEL 059-229-8301
- 静岡営業所 TEL 054-273-4580
- 浜松営業所 TEL 053-451-2550
- 北陸支店 TEL 076-231-7100
- 富山営業所 TEL 076-441-5531
- 福井営業所 TEL 0776-26-1821

### ● 関西支社

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-11-7 信濃橋三井ビル 7F TEL 06-7175-9505

- 京滋営業所 TEL 075-691-5688
- 和歌山営業所 TEL 073-422-5910
- 神戸営業所 TEL 078-231-3190
- 姫路営業所 TEL 079-298-2206

### ● 中四国支社

〒730-0017 広島県広島市鉄砲町 7-18 東芝フコク生命ビル 4F TEL 082-577-1070

- 岡山営業所 TEL 086-235-1340
- 山口営業所 TEL 0834-32-0326
- 山陰営業所 TEL 0852-22-1836
- 四国支店 TEL 087-821-0141
- 松山営業所 TEL 089-900-1888
- 高知営業所 TEL 088-845-2280
- 徳島営業所 TEL 088-626-2421

### ● 九州支社

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 2-4-1 東芝福岡ビル TEL 092-735-3471

- 北九州営業所 TEL 093-582-1002
- 長崎営業所 TEL 095-847-7225
- 大分営業所 TEL 097-553-1048
- 熊本営業所 TEL 096-370-4450
- 宮崎営業所 TEL 0985-29-7711
- 鹿児島営業所 TEL 099-257-6222
- 沖縄支店 TEL 098-879-2011

### ■東芝エルイーソリューション株式会社 北海道支店

〒003-0023 北海道札幌市白石区南郷通 20 丁目北 3-28 TEL 011-868-2070

● この取扱説明書は平成 27 年 4 月現在のものです。 ● この取扱説明書に掲載の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。